

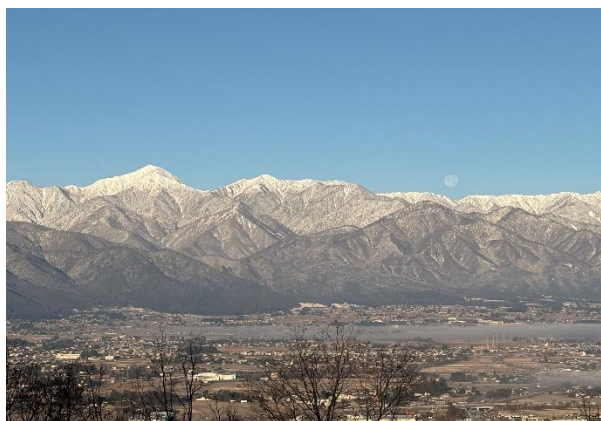
いきものふれあいの森 通信

2025.12.10 第13号



初冬を迎え紅葉した葉が散り始め、常念岳の初冠雪は11月2日でした。

今年のコールドムーン（寒月）は12月5日で、翌日の朝は快晴となりほぼ満月のコールドムーンと常念山脈がとても素敵でした。



これから冬の晴れた日には、アルプス公園〈山と自然博物館〉5階展望台は、真っ白に輝く北アルプスや美ヶ原など360度の絶好展望ポイントになります。是非ともいらしてください。

11月8日(土)に「自然観察の会 ひこばえ」による「アルプス公園の秋を楽しむ - 散策とピザづくり・つるや木の実の工作」が行われました。

〈森の入口休憩所〉で集合し、紅葉した〈いきものふれあいの森〉を〈花の丘〉から〈古民家体験学習施設〉に向かって木の実や昆虫などを観察しながら進んでいきます。



＊スタートの〈花の丘〉で早速“ガマズミの実”。秋には小さな真っ赤な実がギッシリとつきます。花は5～6月頃に、5mmほどの小さな白い花がたくさん集まって10cmくらいの集合体となって咲きます。



＊さらに“ホウの実”を発見。大きな葉が「ほうば焼き」として知られている朴の木の果実です。秋に赤く熟し下向きに垂れ下がっていて、袋状の果実から糸を付けた小豆くらいの種子が出てきます。

＊散策していると“クサギ”。星形に五裂した赤紫色のガクに丸い青紫色の果実をつけ、成熟した実は鳥たちの好物ですすぐに食べられてしまいます。夏に咲く白い花は良い香りですが、葉は臭い。（臭木です。）

＊そして“アズキナシ”。春に1cmほどの白い花をたくさんつけ、花が終わると1.5cmほどの小豆大の大きさで梨の形に似た実がなるので“アズキナシ”。実は秋から冬に赤くなり、最後は暗赤色になります。

＊散策しながら、上下左右と周りを見ながら昆虫観察やドングリ拾い。子供さんからは質問もあり楽しく自然観察です。



*〈森の里広場〉近くで“サンシュユ”を見つけました。2 cmほどの楕円形でつやつやした赤い実が付いています。春に黄色の花が咲きますが、葉が開く前に開花するため、木全体が黄色に包まれるように見えます。

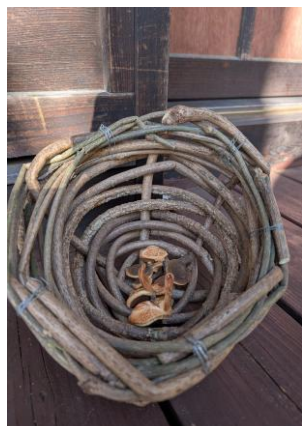


*〈古民家体験学習施設〉に到着すると、お待ちかねの昼食タイムです。皆さんで準備した味噌汁、煮物、漬物、果物、そして石窯を使って焼き立てのピザなど盛り沢山のご馳走をいただきました。

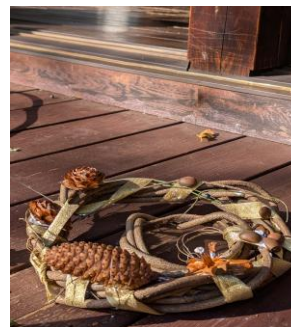


*午後は〈古民家体験学習施設〉周辺で刈った“ツル”でリース作り。器用に“ツル”を扱いながら籠を編んだり、ドングリやマツボックリ、リボンを付けてリースを作られていました。

籠を作っています。そして完成品！



散策中に拾い集めた“ツル”。そしてリースも完成！



公園内では、紅葉が終わると大量の落ち葉をブローアードで処理していますが気を遣う所もあります。〈古民家体験学習施設〉の玄関前にあるエノキの根元は要注意で、落ち葉の裏に“オオムラサキ”の幼虫がいるので落ち葉は残すようにしています。根元付近は落葉を越冬期でまだ小さく落ち葉に擬態して茶色なので判別も難しいですね。



来年も元気な姿を見せてほしいものです。 以上

伝言板

エコスクールに参加しませんか？

冬の自然観察会「小さな春を見つけよう！」

- ・ 場所 アルプス公園内
 - ・ 日時 2月21日(土) 13:00~15:30
 - ・ 対象 市内在住の小学生以上
(小中学生は保護者同伴)
 - ・ 定員 20人
 - ・ 申込 松本市役所HP「エコスクールに参加しませんか？」参照下さい
- お問い合わせは「環境・地域エネルギー課」
まで Tel 0263-34-3268